

いきいき笑顔応援プロジェクト 同行訪問報告シート

令和 2 年 3 月 24 日

ケアマネジャー

利用者 様 のケースについて

①同行訪問を行った主な目的

歩行時のふらつきがあり歩行器を使用したほうがいいのかリハビリの先生に見極めをしてほしい。

②同行訪問の具体的に良かったこと・良くなかったこと（助言や指導による変化・効果、手順等について）

ケアマネジメントに関して効果のあったこと	利用者・家族・事業所に対して効果のあったこと
<input type="checkbox"/> アセスメントの着眼点を増やすことができた <input type="checkbox"/> 自立阻害要因を明確にできた <input checked="" type="checkbox"/> 疾患からの身体状況を把握できた <input type="checkbox"/> 具体的・達成可能な目標設定ができた <input type="checkbox"/> その他ケアマネジメント力の向上につながった <p>知り合いの人に歩行時には杖や歩行器を使用したほうがいいのかと言われてショックを受けていたが、今まで通りの買い物カートでもしっかり歩けるとリハビリの先生に言ってもらったので安心した。また、歩行時に自信が持てるようになった。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の自立意欲を高められた <input type="checkbox"/> 本人・家族も気付いていなかった可能性を引き出した <input type="checkbox"/> ニーズに沿った活動の機会を提案できた <input type="checkbox"/> サービス提供にあたっての具体的な依頼ができた <input checked="" type="checkbox"/> その他利用者の自立支援につなげることができた <p>地域の講座や趣味活動の場所を知ることができ参加してみようと思われた。また、まだまだ自分にも出来ることが沢山あることが分かり、少しずつできる家事を増やしていきたいと前向きになられた。</p>

良くなかったこと

③リハビリ職以外に意見・助言を求めた職種または介入が必要と思われる職種

(管理) 栄養士 薬剤師 歯科衛生士 言語聴覚士 社会福祉士 精神保健福祉士
 保健師 看護師 医師 歯科医師 精神科医師 他()

意見・助言を求めた内容や介入が必要な理由

④アセスメントで「支障あり」のうち、サービス導入していないが支援の必要性を感じる項目がある場合

項目

プランに位置付けなかった、提案に結び付かなかった理由

本人が必要性を感じていない 提案できる通いの場や移手段、サービス等の不足
 家族が必要性を感じていない サービス利用にかかる費用の問題 タイミングを検討中
 他(サービスの必要性がない)

⑤今回のケースに関して、地域に不足していると感じる資源や、市に必要なサービス・制度等

健康体操や趣味活動が集える場所の宣伝が必要。地域の掲示板にポスター貼りなど。

⑥今回のケースの今後の同行訪問予定（担当者会議、モニタリング、評価等）

予定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 未定	日程	1か月後	頃	目的	評価の為の訪問
----	--	----	------	---	----	---------

いきいき笑顔応援プロジェクト 同行訪問報告シート

令和 2 年 3 月 19 日

ケアマネジャー

利用者 様 のケースについて

①同行訪問を行った主な目的

片付けができない在宅環境下で認知機能低下と転倒の繰り返しがあり困ってる。
どうすれば環境を整え安全に過ごせるか助言してほしい。

②同行訪問の具体的に良かったこと・良くなかったこと（助言や指導による変化・効果、手順等について）

ケアマネジメントに関して効果のあったこと	利用者・家族・事業所に対して効果のあったこと
<input checked="" type="checkbox"/> アセスメントの着眼点を増やすことができた <input checked="" type="checkbox"/> 自立阻害要因を明確にできた <input checked="" type="checkbox"/> 疾患からの身体状況を把握できた <input checked="" type="checkbox"/> 具体的・達成可能な目標設定ができた <input checked="" type="checkbox"/> その他ケアマネジメント力の向上につながった <input checked="" type="checkbox"/> 専門職に状態像の評価を受け、物忘れと転倒に対し改善策を具体化することができた。 担当国会議と同時開催し、介護保険サービス関係者と課題を共有でき今後の支援に役立つ。	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の自立意欲を高められた <input checked="" type="checkbox"/> 本人・家族も気付いていなかった可能性を引き出した <input checked="" type="checkbox"/> ニーズに沿った活動の機会を提案できた <input checked="" type="checkbox"/> サービス提供にあたっての具体的な依頼ができた <input checked="" type="checkbox"/> その他利用者の自立支援につなげることができた <input checked="" type="checkbox"/> 別居の家族と連絡がつき、認知症専門医通院に理解が得られ、受診予約にこぎつけることができた。 4月ベット導入の意向を確認し、寝室を2階から1階にすることで、物干し竿の位置を下げた、など転倒予防を具体的に提案できた。

良くなかったこと

③リハビリ職以外に意見・助言を求めた職種または介入が必要と思われる職種

<input type="checkbox"/> (管理) 栄養士 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士 <input type="checkbox"/> 社会福祉士 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士
<input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 精神科医師 <input type="checkbox"/> 他()

意見・助言を求めた内容や介入が必要な理由

認知症の鑑定があった場合、医療職と連携し必要な支援を検討していく。

④アセスメントで「支障あり」のうち、サービス導入していないが支援の必要性を感じる項目がある場合

項目

プランに位置付けなかった、提案に結び付かなかった理由

<input type="checkbox"/> 本人が必要性を感じていない <input type="checkbox"/> 提案できる通いの場や移動手段、サービス等の不足
<input type="checkbox"/> 家族が必要性を感じていない <input type="checkbox"/> サービス利用にかかる費用の問題 <input type="checkbox"/> タイミングを検討中
<input type="checkbox"/> 他()

⑤今回のケースに関して、地域に不足していると感じる資源や、市に必要なサービス・制度等

⑥今回のケースの今後の同行訪問予定（担当国会議、モニタリング、評価等）

予定	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 未定	日程	頃	目的	モニタリング・評価
----	--	----	---	----	-----------

いきいき笑顔応援プロジェクト 報告シート (プランなし用)

令和 1 年 11 月 18 日

担当者	
-----	--

利用者	様	のケースについて
-----	---	----------

①利用者主訴

今年2月に腰椎圧迫骨折し今も時々痛みあり無理な動きができませんが洗濯物以外の家事は行っていきます
 専門職に腰の痛みの軽減のための運動を教えてください

②自身のマネジメントや利用者・家族に対して効果のあったこと

ケアマネジメントに関して効果のあったこと	利用者・家族・事業所に対して効果のあったこと
<input type="checkbox"/> アセスメントの着眼点を増やすことができた <input checked="" type="checkbox"/> 自立阻害要因を明確にできた <input checked="" type="checkbox"/> 疾患からの身体状況を把握できた <input type="checkbox"/> 具体的・達成可能な目標設定ができた <input type="checkbox"/> その他ケアマネジメント力の向上につながった «具体的に» 圧迫骨折後の腰痛以外にも以前から右肩の痛みがあり家事に支障があることがわかりました。	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の自立意欲を高められた <input checked="" type="checkbox"/> 本人・家族も気付いていなかった可能性を引き出した <input type="checkbox"/> ニーズに沿った活動の機会を提案できた <input type="checkbox"/> サービス提供にあたっての具体的な依頼ができた <input type="checkbox"/> その他利用者の自立支援につなげることができた «具体的に» 専門職より腰痛や肩の痛みの改善のためのストレッチの指導によって本人さんの意欲の向上に繋がりました

同行訪問の感想や専門職への要望

③リハビリ職以外に意見・助言を求めた職種または介入が必要と思われる職種

<input type="checkbox"/> (管理) 栄養士 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士 <input type="checkbox"/> 社会福祉士 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士 <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 精神科医師 <input type="checkbox"/> 他()
--

意見・助言を求めた内容や介入が必要な理由

介護保険サービスを利用しない場合は、その理由

<input type="checkbox"/> 本人が必要を感じていない <input type="checkbox"/> 提案できる通いの場や移動手段、サービス等の不足 <input type="checkbox"/> 家族が必要を感じていない <input type="checkbox"/> サービス利用にかかる費用の問題 <input type="checkbox"/> タイミングを検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 他 (要介護認定なし。)
--

⑤今回のケースに関して、地域に不足していると感じる資源や、市に必要なサービス・制度等

腰の圧迫骨折後、後遺症で自転車に乗ると段差などで腰に痛みあり自転車に乗れなくなった。そのため交通機関を利用されていますが駅まで遠く移動が困難です。市内の循環バスの充実や乗り合いタクシーなど安い料金で利用できる移動手段があれば活動範囲が広がると思いました。

⑥今回のケースの今後の同行訪問予定 (担当者会議、モニタリング、評価等)

予定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 未定	日程	令和2年2月 頃	目的	モニタリング
----	--	----	----------	----	--------

いきいき笑顔応援プロジェクト 報告シート (プランなし用)

令和 1 年 11 月 14 日

担当者

利用者

〃

様

のケースについて

①利用者主訴

40日間入院していたので足腰が弱ってしまった。しっかり歩けるようになって以前通っていたコスパに通えるようになりたいが、ふらついて運動できない。どうしたらよいか教えて欲しい。

②自身のマネジメントや利用者・家族に対して効果のあったこと

ケアマネジメントに関して効果のあったこと	利用者・家族・事業所に対して効果のあったこと
<input checked="" type="checkbox"/> アセスメントの着眼点を増やすことができた <input checked="" type="checkbox"/> 自立阻害要因を明確にできた <input type="checkbox"/> 疾患からの身体状況を把握できた <input checked="" type="checkbox"/> 具体的・達成可能な目標設定ができた <input checked="" type="checkbox"/> その他ケアマネジメント力の向上につながった «具体的に» 起居動作や屋外歩行動作を実施して貰いSpo2や脈拍を計る事で活動の許容範囲や可能性を確認するというリハ職の先生のアセスメント方法を見て、新たな着眼点を増やす事ができました。	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の自立意欲を高められた <input checked="" type="checkbox"/> 本人・家族も気付いていなかった可能性を引き出した <input checked="" type="checkbox"/> ニーズに沿った活動の機会を提案できた <input type="checkbox"/> サービス提供にあたっての具体的な依頼ができた <input checked="" type="checkbox"/> その他利用者の自立支援につなげることができた «具体的に» 歩行に不安があって散歩もできないと思い込んでいたが、リハ職の先生の評価を受けて本人の活動意欲に繋がった。

同行訪問の感想や専門職への要望

一定期間でどの程度回復可能か、リハ職の先生の根拠ある説明が本人の意欲を後押ししてくれた。同時にケアマネも励ましの声掛けを自信をもってかける事ができ、さらにやる気に繋がった。リハ職とケアマネの相乗効果が発揮された。

③リハビリ職以外に意見・助言を求めた職種または介入が必要と思われる職種

- (管理) 栄養士 薬剤師 歯科衛生士 言語聴覚士 社会福祉士 精神保健福祉士
 保健師 看護師 医師 歯科医師 精神科医師 他()

意見・助言を求めた内容や介入が必要な理由

介護保険サービスを利用しない場合は、その理由

- 本人が必要を感じていない 提案できる通いの場や移動手段、サービス等の不足
 家族が必要を感じていない サービス利用にかかる費用の問題 タイミングを検討中
 他(申請中。認定が出ればデイサービスの利用を検討中。

⑤今回のケースに関して、地域に不足していると感じる資源や、市に必要なサービス・制度等

⑥今回のケースの今後の同行訪問予定 (担当者会議、モニタリング、評価等)

予定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 未定	日程	12月中旬	頃	目的	モニタリング
----	--	----	-------	---	----	--------